

会歌短見広

咲きつぎて小さくなりし野ぼたんの今朝もひらきぬ二日ばかりて
 亡き母がもちて来植えにし山茶花に初雪ふりて色あせ落ちる
 須藤ヒサエ
 初産の髪たばねやる産院の窓に白蝶しずかにとまりて
 兵田トミ子
 目覚めざる体を熱き湯に沈めあれもこれもと師走のひと日
 二宮 安恵
 囲炉裏辺で糸操る祖母の浮びくる外は木枯し吹きすさぶ夜に
 武田 幸子
 高田 治子
 大分の夢のつり橋渡り行く四季おりおりの絶景見たし
 伊手リツエ
 あとずさりする思い抑え病院の長き廊下の人混みを行く
 佐々木登美子
 コスモスの花の終れば友の来て玉葱植えむと畑打ちく
 山本まつゑ
 リュック背に歩きはじめた子のお守り今日は小春日心みたさる
 橋本 加代
 玉葱の植付け暫し手を休め流れる雲を腰のぼし眺む
 蛭谷 寿子
 若水をお迎へせねばと笈の水吸みてもどりし父の思ほゆ
 渡辺キヨ子
 はるかなる幾重の山に流れ雲ちぎれちぎれに浮びて見ゆる
 松崎 静香

会句北鬼

誘はるるままに寄り道日脚伸ぶ
 やはらかき木々の色合い春萌す
 大川 眺春
 受験子の吉報待つや春立つ日
 善家 信景
 受験子の見送る母を振り向かず
 善家 三代
 独楽眠る息を殺して太刀の先
 善家 章
 食べきれぬ数となりけり年の豆
 上甲 正志
 老木の只一輪や梅の花
 上甲 武英
 寒卵貴重品のごと扱ひし
 松本 久江
 飛ぶ鳥の影落し行く冬の川
 今西 英子
 雪降れる夜は仏壇の扉閉じ
 武田 幸子
 雪帽子それぞれ羅漢泣き笑ひ
 二宮千代子
 山裾を行く一輛車雪景色
 二宮 友子
 床上げの夫の髭剃る四温かな
 新倉地映子
 寒卵まだ温みあり妻の掌へ
 松岡 寛孝
 降る雪や非正規雇用の生きる道
 芝 光恭
 ほめられて沢庵漬を又切りぬ
 白敷フサ子
 炎は天にどんど一氣に崩れけり
 上甲 斗志

Christopher's Story No.29

[Marathon season!]

暖かくなり走るには絶好の季節になりましたね。朝、晩と走っている方も多いのではないのでしょうか？私は3月22日に行われる東京マラソンに向けて練習をしています。今年で2度目の参加になるので記録を更新できるようベストを尽くしたいと思います。

私が鬼北町に来て小学校に語学指導に行った時に、子どもたちから「学校でマラソンの練習をしている」という話を聞きとても驚きました。なぜなら、アメリカではマラソンとはフルマラソン(42.195km)の事を指すからです。私はてっきり子供たち全員がフルマラソンの練習を

しているとはばかり思っていました。2.2kmの距離だと聞いて、日本では短い距離でもマラソンと言うのだなということが分かりました。

今年も鬼北町の駅伝大会にでましたが、それまでは「駅伝」という競技を聞いたことがありませんでした。それほどアメリカでは珍しい競技でした。最近ではアメリカでも人気になってきましたが、それでも日本に比べて大会が少ないです。

私の出身のオレゴン州には世界でも大規模な駅伝大会があります。オレゴン州の中で標高が一番高い「フード山」から太平洋までの全長315kmを36区間に分けて行われ、毎年千チームほど参加します。

私は駅伝がとても好きなので、アメリカにもっと大会が増えることを望んでいます。

駅伝は一人で走るマラソンと違いチームで走るので、チームの団結心が深まり、士気が高まります。

みなさんも駅伝にチャレンジしてみてもいいですか？